環境にやさしい

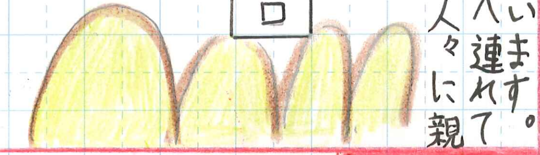
京王電鉄新聞

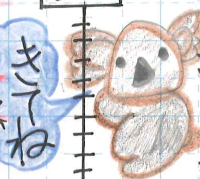
令和元年9月発行
若松小5年
秋山隼人

ぼくの住む町には、京王線が走っています。通きん通学だけではなく、数々の名所へ連れていってくれます。観光路線としても、人々に親しまれています。

おすすめスポット

高尾山はミシュラン三つ星をとり、海外からもたくさんの旅行者が訪れます。名物高尾そばを食べて、ゆっくり温泉につかってみては？ ビアマウントの展望台からは、スカイツリーが見えます

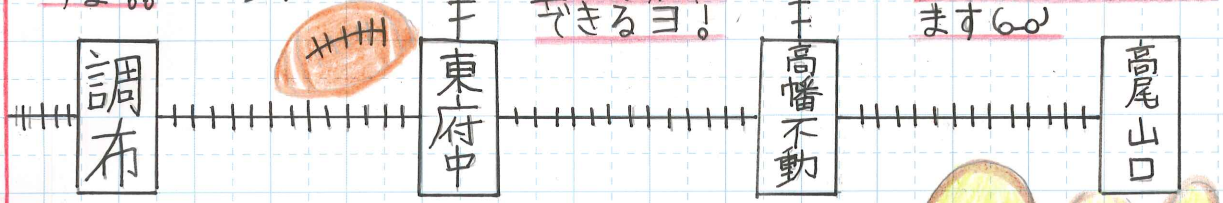




京王レールランドは、子供から大人まで京王線を学んで遊べます。車両展示やジオラマ展示は圧感です。ミニ電車にも乗車できるヨ！

花火大会はノンストップで1時間約1万発の花火が空に舞います！

深大寺では、毎年3月3、4日にだるま市が開かれます。あなたの願いをだるまにこめたらきっと叶うよ!!

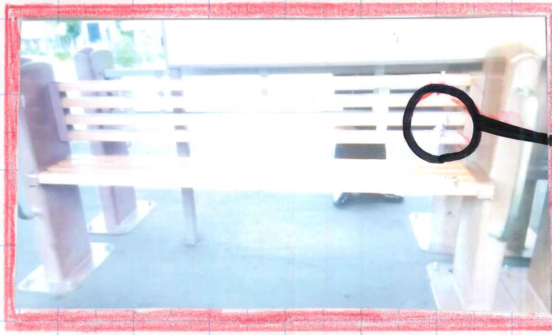


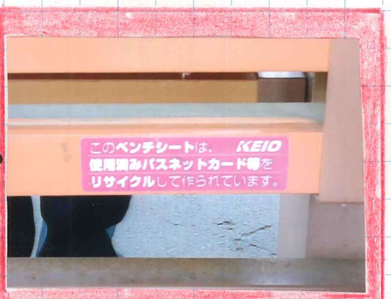
京王電鉄のここがすごい

リサイクル!!

みなさんはリサイクルという言葉を知っていますか。リサイクルとは、いらなくなったものやエネルギー源などを再利用することです。

京王線・井の頭線各駅には、左の写真のようなベンチが設置されています。なんとこれは、使い終わった定期けんで作った「エコベンチ」なのです。ぼくもよく利用しますが、とてもおどろきました。社員の名しも、使用ずみ定期けんからできているのです。




このベンチシートは、KEIO 使用済みパスネットカード等をリサイクルして作られています。

東府中駅下りホームのベンチ

他にも

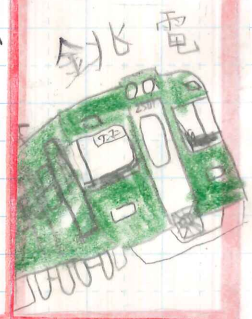
トイレットペーパー
回収された使用ずみきっぷを落かして作ります。一ロールあたり、約二六〇枚のきっぷでできています。

駅のトイレで、みんながお世話になっています。大切に使おうね。

案内板
駅売店より回収した飲料用のペットボトルをリサイクルして全駅の案内板として再利用しています。

洗浄水
若葉台工場では、車両や部品の洗浄水の使用量をへらすために「処理水再利用そう置」をどう入しています。

黄線までさがってお待ちください。



京王電鉄のじょう渡車両

いざ、銚子電鉄へ

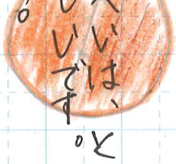
鉄道車両のリサイクルについて気になっていたぼくは、実際に京王電鉄の車両を再利用している「銚子電鉄」に乗車してきました。

母がよく乗った京王5000系車両は、ワンマンカーに改造されていて、きっぷは車内で女性の車しょうさんがチェックしていました。車内アナウンスは、なんと地元の高校生が一駅一駅考えて作っていて、なかでも笠上黒生（かさがみくろはえ）駅の愛しょうを「かみのけくろはえ」としょうかいしている場面では車内大ばく笑でした。

経営状態はきびしいけれど、名物「ぬれせんべい」をヒットさせたり、地元の人にも観光客にも愛されている電車だとわかりました。

ぼくは、不要になった車両が生まれかわって地方で活やくするすがたにうれしく思いました。

ぬれせんべいは、とてもおいしいです。ぜひ一枚。



京王電鉄5000系
↓
伊予鉄道700系
↓
2016年3月26日
運行開始
銚子電鉄3000形

令和元年9月1日
仲ノ町車庫にて

編集後記

京王線はリサイクルをはじめ、環境にやさしい取り組みを行っています。

たとえば梅雨時には井の頭線の車窓から、色とりどりのアジサイが見えてほっこりします。雨なのに電車に乗るのが楽しみになります。

しょう来の夢は、電車の運転手になることです。よく駅で車いすの人の手助けをする駅員さんを見かけますが、ぼくも、やさしい心を持った鉄道マンになれるように日々努力したいです。